

事業名	緑の活用推進事業費		
細事業名	県民緑化まつり負担金	財務コード	662803
担当部課室	森林環境 部	みどり自然 課	緑化 担当 (内線) 6522

事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(県民緑化まつり実行委員会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	緑をつくり・緑を育て・緑を守る意識が啓発されている	うるおいと安らぎのある緑豊かな県土づくり
事業の内容 主にH26年度	<p>事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑や森林に関心が高まる中で、緑をつくり・育て・守る意識の啓発とともに、県民参加の緑づくりが必要。 このため、県土緑化強調期間(4/1~5/31)の象徴的な行事として開催。 経費は、県、開催市町村、(公財)山梨県緑化推進機構が負担し、実行委員会を組織し実施。 <p>平成26年度開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日:平成26年5月10日(土) 会場: <ul style="list-style-type: none"> 記念式典・・・山中湖交流プラザきらら・山中湖シアターひびき 植樹・・・山中湖交流プラザきらら内村有地 内容 <ul style="list-style-type: none"> 記念式典・・・緑の少年隊による森づくり宣言、緑の募金感謝状の贈呈、緑化関係各種コンクール入賞者の紹介 等 植樹・・・主催者記念植樹、参加者植樹 参加人数・・・スタッフ(100人)を含め580人 		
根拠法令等	山梨県環境基本条例		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標	緑化まつり開催回数	1回	1回	1回	1回	活動指標 目標設定の考え方 緑化まつり開催回数とし、過去の実績とした。 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率(実績値/目標値)	100.0 %				
成果指標	成果指標達成率(実績値/目標値)	%				成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額又は予算額(千円) うち一財額	800	800	800	800	
所要時間(直接分)	832 時間	832 時間	832 時間	832 時間		
所要時間(間接分)	568 時間	568 時間	568 時間	568 時間		
所要時間計	1,400 時間	1,400 時間	1,400 時間	1,400 時間		
人件費コスト単位:千円(@2,048円×所要時間)	2,867	2,867	2,867	2,867		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 毎年開催場所を変え、県全体で緑化の重要性を再認識するとともに、うるおいと安らぎのある緑豊かな県土づくりに繋げていこうとする意識の高揚を図る事業であるが、平成26年度においても多くの参加者があり、効果的な事業内容により緑をつくり・緑を育て・緑を守る意識を啓発していることから、意図した成果をほぼ上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	開催場所に応じ、効率的で効果的な事業内容とすることが必要であることから、開催市町村・各林務環境事務所・(公財)山梨県緑化推進機構と早期に方向性の確認を行うとともに、内容による業務分担の見直しを図る。	I

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	開催場所に応じ、効率的で効果的な事業内容とすることが必要であることから、開催市町村・各林務環境事務所・(公財)山梨県緑化推進機構と早期に方向性の確認を行うとともに、内容による業務分担の見直しを図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること